

○議長（竹島ユリ子君） 4番 川崎和夫君。

○4番（川崎和夫君） おはようございます。

オレンジパークふなはしの有効活用について質問いたします。

オレンジパークふなはしは、平成7年から11年をかけ村民の憩いの場として、京坪川河川公園とともに、自然にあふれた公園として村民に親しまれてきました。私も朝の散歩の途中でときどき休ませてもらっておりますが、いつも芝生がきれいに手入れされており、気持ちよく過ごさせていただいております。

オレンジパークふなはしは、供用開始から5年から6年を経たわけではありますが、公園としては村民の利用率が低いように見受けられます。現在、公園の維持管理費として年間約450万円以上の費用がかかっております。しかし、かかっている費用の割に公園としての利用はそんなに多くはないように見受けられます。

公園の維持管理費を月に換算しますと約37万5,000円にもなっております。費用対効果の面から見て、今後いかにして公園の有効活用を図って、住民に利用していただくか、そしてまたこの管理費をいかに削減していくかが今後の課題ではないかと思っております。

子どもからお年寄り、各種団体が親しんでいただくために工夫を凝らした公園の有効利用を考えていく必要があります。現在公園内には遊具として滑り台が1台設置されておりますが、幼い子どもたちが楽しむには、遊具施設としては不十分であり、もっと遊具ゾーンとして充実すべきでなかろうかと考えます。今後、遊具の増設の計画があるかないかお伺いします。

次に、京坪川の河川公園についてですが、今の状況は水の流れがなく、下手をすればヤブカの発生源になってくるんじゃないかと危惧します。きれいな流れを取り戻して本来の河川公園として楽しめるよう対策をとるべきではないかと思っておりますが、どのように考えておられるかお伺いします。

平成7年に着工以来、15年を経過したわけですが、今までに投資された費用は非常に大きな額に上るのではないかと思います。投資された費用が十分に効果を上げて生かされるようにお願いします。

オレンジパークふなはしでのスポーツ、レクリエーション、イベント開催などの有効利用面において、今後どのような構想を持って対応されていくのかお伺いします。

また、公園内にはことし、時計塔の設置やウォーキングロードの完成と周辺環境整

備も進んできております。公園の活用については、河川公園の特徴を十分に生かした検討をしていただきたいと思います。

以上で終わります。

○議長（竹島ユリ子君） 生活環境課長 高島宗明君。

○生活環境課長（高島宗明君） 4番川崎議員のオレンジパークの有効活用と遊具施設の充実についてのご質問に答えたいと思います。

京坪川河川公園（オレンジパーク）は、平成7年に都市計画決定をされ、国庫補助を受けまして平成8年度から平成18年度まで整備を進めてまいったところでございます。平成19年4月にオープンいたしました。

当初の計画では、現在の公園の園路となっている部分まで京坪川を蛇行させ、流れを緩やかにした上で、その周囲を木々を取り巻く「自然と語らい、緑薫る水辺のハーモニー」を基本コンセプトに、園内にはバーベキュー広場や大型遊具ゾーンを配置したほか、高木約600本、低木約1万3,000株の植栽を計画した総事業費6億2,000万円の事業計画でありました。その後、埋蔵文化財の試掘調査の結果、包蔵地として指定されたため、計画していた工法では多額の発掘調査費や調査期間が懸念されたほか、村の財政状況と公園整備に係る費用対効果を再度精査した結果、整備規模の縮小が妥当であると考え、京坪川河川公園は現在の姿となった経緯があります。

現在の公園内に植栽された高木は約200本、低木植栽面積は約800平方メートルでございます。それに8,600平方メートルにわたる芝生広場がございます。ご存じのとおり植物は早い段階での手入れが重要であります。芝生に関しては張りつけや吹きつけから4年から5年間の手入れがその後の生育を左右すると言われております。これらの植栽類が強く大きく育っていくために、年間約450万円の維持管理業務委託料を要しているところでございます。その成果もあり、年間を通じて住民の方が利用しやすい環境にあるものと認識しているところでございます。議員ご指摘のとおり費用対効果から、業務委託の範囲や、住民参加型により維持管理ができる体制の確立に向け、検討する時期に来ていると思っております。

今後、住民と行政との協働により、一人でも多くの人に愛される公園のあり方を協議する仮称ではありますが、京坪川河川公園保全・活用方針協議会を設立いたしまして、樹木等の維持管理及び水辺、遊具等の整備について対応を検討してまいりたいと考えておりますので、今後とも議員のご理解とご協力をお願いしまして、答弁とさせていただきます。

きます。